

バーバの月を旅する

スワミ・クリッパ・ナンダ

8月から9月にかけて、私たちは「グルマリーの導き」を実践し、楽しむことができました。そして今、バーバ・ムクターナンダのマハーサマーディの月である10月に入り、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトにあなたの学びのためのバーバの教えの特集が掲載されることをお知らせでき、嬉しく思います。シッダ・ヨーガ瞑想ティーチャーからの解説を伴って、バーバから週に一つの教え（全部で四つの教え）があります。それぞれのティーチャーは、あなたが教えを実践する手助けとなるように、その教えについての独自の視点を提示します。

世界の幾つかの地域では、10月は秋の季節が歌う月です。私は一年のこの時期が大好きで、特にニューヨーク州北部のキャッツキル山地にあるシュリー・ムクターナンダ・アーシュラム周辺が大好きです。地形と眺望は10月に劇的な変化を遂げます。空気は爽快で、光の質さえも変化します——それはもはや頭上の太陽からの直射日光ではなく、わずかに金属的な色合いで斜めに入ってきて来ます。どこを向いても、赤、オレンジ色、黄色の鮮やかな秋の色に出会います。私にとってこれらの色は、バーバの衣服の色を思い起こさせます。私はグルマリー・チッドヴィラーサーナンダから、5月と10月をバーバの月として祝い、たたえることを学びました——5月は彼の誕生の月であり、10月は彼のマハーサマーディ、絶対なる者への最終的な融合の月です。中でも私がとりわけバーバに至る所で思い出すのは10月です。燃えるような色彩を見せる秋が想起させるのは、バーバがパリッとしたオレンジ色の絹の服を着て、大股で歩いている姿です。

バーバのマハーサマーディは、バーバが肉体を離れ、すべてに浸透している絶対なる者と融合し、すべての存在の心に入った時をたたえるものです。この至福に満ちた融合、この魂の解放は、インドの教典が偉大な存在、シッダの死を縁起の良い機会と見なす理由です。それは歓喜の時です。その人の肉体的存在の欠如を考えると、悲しみや嘆きの感情が折に触れて生

じるかもしれませんが、その存在は決して去ることはないという光に満ちた理解と体験があります。彼らの本質は、私たちの心の中に生きているのです。

バーバが1981年10月に3回目のワールドツアーからグルデーヴ・シッダ・ピートゥに戻った時、私はシッダ・ヨーガ・スワミの一人として、幸運にも彼に同行してインドに戻り、セーヴァーをささげ続けました。

バーバのマハーサマーディの夜、1982年10月2日午後11時を過ぎた頃、誰かが私の部屋にやって来ました。私は眠っていましたが、完全には眠っていませんでした。なぜ完全に眠りに落ちることができなかったのか分かりませんでした。私と隣の部屋にいた数人は、バーバの居室に行くように言われました。私が到着した時、私はバーバが完全な蓮華(れんげ)座に座っているのを見ました。彼がマハーサマーディに入ったことは明らかでした。

状況の重大さを目にして悟った後、突然私の全世界が消えたのを覚えています。そこから光が消えたようでした。しかし、それは満月の夜で、私が今まで見た中で最も明るい満月でした。

私は——映画の一場面かのように——バーバの部屋を行き来する人々が彼の最後のダルシヤンの準備をしているのを見ていました。すべてがスローモーションのように感じました。私もその準備を手助けするように依頼されました。

ある時点で、私は何かを取りに自分の部屋に上がりました。私の中で凍りついていたそれらの感情のすべては、突然自分自身を表現する方法を見つけたようでした。突然、私はこらえ切れずに泣いていました。そして私はただそのままにしておきました。ベッドに腰を下ろし、感情が出るままにさせました。涙が私の顔に熱く感じられ、私は完全に途方に暮れていました。

私が絶望の淵に沈んでいると、私の中から光が輝き、バーバの声が聞こえました。それは極めて明白でした。バーバは言いました。「大丈夫、クリPPERナンダ。すべては大丈夫だ。私はここにいる。本当に君と一緒にいるよ」

私はハッとして自分の苦悩から抜け出しました。私はベッドに座ってその光を呼び戻し続けました。バーバの声。バーバの言葉。私は自分の目の前に、バーバとの私の人生の数々の場面、彼が私に教えてくれたすべて、そして彼が私に与えてくれた黄金の人生を見ました。

それは私に次のように考えさせました。「もちろんです。もちろん、バーバ、あなたは本当に私と一緒にいます。どのようにして忘れることができたのでしょうか？」それを受け入れることで、私は深い平和に包まれ、すべてが本当に大丈夫であることを確信しました。バーバはそれを書いて、そして私はそれを知っていました。

ありがとうございます、バーバ。あなたはどこにも行きませんでした！ 1973 年にあなたのダルシャンを最初に受け取って以来、私があなたの存在を体験してきた私の心の神殿に、まさにここに、あなたはいたし、ずっといたのです。

そのようにして理解とエネルギーを回復し、私はバーバの信奉者のための最後のダルシャンの準備を手助けするために戻りました。

バーバの声や言葉を聞いて得た力のおかげで、私は他の人を助けることができました。私は自分にやるべき仕事があることを知っていましたし、私の体ができ得る限り、私はセーヴァーをささげるという新たな決意を感じました。バーバがこの惑星で最後の息をするまで仕事をしたことが、私を激励したのです。

私のシッダ・ヨーガのサーダナーはグルマリーの指導の下で続けられ、同時にバーバの存在感はかつてないほど強くなっています。実際、私が少し疲れている、または「効率が悪くなった」と感じていると、バーバは私の夢に鮮やかなオレンジ色の渦を巻いて現れ、笑って私の背中を軽くたたきます。そのたびに、新たなエネルギーと喜びと感謝の気持ちに満たされて目覚めます。

バーバ・ムクターナンダはもはやこの惑星上の彼の肉体にはいませんが、彼の恩恵は私にとって生き生きと存在し続けています。彼の世界への影響は続いています。そして彼のミッションには永続的な遺産があります。彼の教えは、人々が学び、実践できるように残されています。

毎年特にこの時期に、私が思い出させられるシッダ・ヨーガの中心的な教えの一つは、肉体に何が起こっても、大いなる自己は永遠で破壊できないということです。体が死んでも、大いなる自己は残るのです。

今月の 10 月 2 日には、私たちはバーバ・ムクターナンダのマハーサマーディの太陽暦の記念日を祝います。

そして 10 月の満月の 10 月 20 日に、私たちはバーバのマハーサマーディの太陰暦の記念日を祝います。

この1カ月を通して、どこに住んでいても、バーバのしるしに注意してください。人々はしばしば、バーバがさまざまな形でさまざまな時に現れるのを体験し、彼らはそのような瞬間に気づくことに喜びを感じます。

そして覚えておいてください。今月の毎週、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトに表示されるバーバからの教えを受け取ります。あなたがその言葉を学び、それらを心に留め、自分のためにそれらの真実を大切にする時、それらはあなたのためだけの特別な意味で脈打つでしょう。

私たちの最愛のバーバから最初の教えを受け取る金曜日にお会いしましょう！

